

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 05-048973
(43)Date of publication of application : 26.02.1993

(51)Int.Cl.

HQ4N 5/335

(21)Application number : 03-208177
(22)Date of filing : 20.08.1991

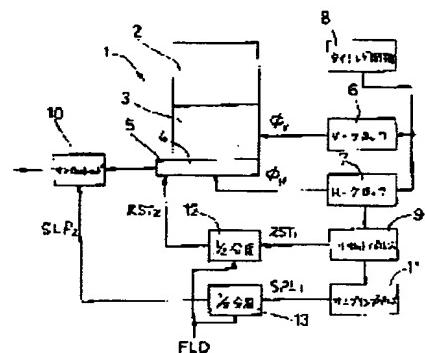
(71)Applicant : SANYO ELECTRIC CO LTD
(72)Inventor : NAKAKUKI TOSHIAKI
WATANABE TORU

(54) SOLID-STATE IMAGE PICKUP DEVICE

(57)Abstract:

PURPOSE: To increase the amount of information electric charge by plurality mixing the information electric charge occurring in the respective picture element of an image pickup element and to obtain sufficient level of output from the image pickup element even when the luminance of an object is dropped.

CONSTITUTION: The period of a reset pulse RST2 for discharging the information charge of an output part 5 of an image sensor 1 is set at twice the period of a horizontal transfer clock ϕ_H performing the transfer driving of a horizontal transfer part 4, two picture elements of information charge is stored in the output part 5 and a voltage value is taken out. The reset timing of the reset pulse RST, is set so as to be deviated from each other for each field by the amount of one period of the horizontal clock ϕ_H and the combination of the picture elements synthesizing the information charge is inverted for each field in the output part 5. Thus, pseudo-interlace scanning can be made also in the horizontal direction and the drop of the resolution in the horizontal direction can be suppressed.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 07.12.1994

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number] 2642807

[Date of registration] 02.05.1997

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-48973

(43)公開日 平成5年(1993)2月26日

(51)Int.Cl.⁵

H 04 N 5/335

識別記号

府内整理番号

F 8838-5C

F I

技術表示箇所

(21)出願番号 特願平3-208177

(22)出願日 平成3年(1991)8月20日

(71)出願人 000001889

三洋電機株式会社

大阪府守口市京阪本通2丁目18番地

(72)発明者 中堂 俊朗

大阪府守口市京阪本通2丁目18番地 三洋
電機株式会社内

(72)発明者 渡辺 透

大阪府守口市京阪本通2丁目18番地 三洋
電機株式会社内

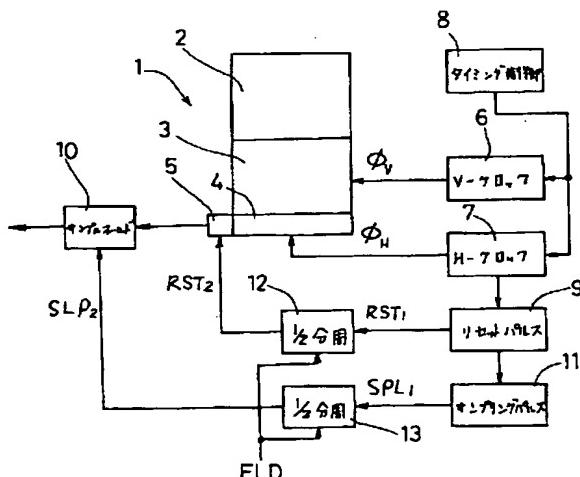
(74)代理人 弁理士 西野 卓嗣

(54)【発明の名称】 固体撮像装置

(57)【要約】

【目的】 撮像素子の各画素に発生する情報電荷を複数混合することで情報電荷量を増大させ、被写体の輝度が低下した場合でも撮像素子から十分なレベルの出力を得られるようにする。

【構成】 イメージセンサ1の出力部5の情報電荷を排出するためのリセットパルスRST₂の周期を、水平転送部4を転送駆動する水平転送クロック ϕ_H の周期の2倍に設定し、出力部5に2画素分の情報電荷を蓄積して電圧値を取り出す。そして、リセットパルスRST₂のリセットタイミングを各フィールドで互いに水平転送クロック ϕ_H の1周期分ずらして設定し、出力部5で情報電荷を合成する画素の組み合わせをフィールド毎に反転させる。これにより、水平方向にも疑似的にインターレース走査され、水平方向の解像度の低下が抑圧される。



【特許請求の範囲】

【請求項1】互いに平行に配列される複数の垂直転送部の各出力が水平転送部の各ビットに結合されると共に、この水平転送部の出力を出力部に受け、この出力部に蓄積される電荷量に応じた電圧値を出力する固体撮像素子と、上記垂直転送部内の情報電荷を1水平ライン毎に上記水平転送部に転送し、さらに上記水平転送部から上記出力部に転送した後に、上記出力部に蓄積される情報電荷を上記水平転送部の転送動作に同期して排出する駆動手段と、上記出力部から出力される電圧値を上記駆動手段の排出動作に同期して取り出す検出手段と、を備え、上記駆動手段は、上記出力部の排出動作の周期を上記水平転送部の転送動作の周期の整数倍に設定し、且つ奇数番目の垂直走査期間と偶数番目の垂直走査期間とで上記出力部の排出動作のタイミングを上記水平転送部の転送動作の1周期の期間互いに異なることを特徴とする固体撮像装置。

【請求項2】上記出力部の排出動作のタイミングを奇数番目の水平走査期間と偶数番目の水平走査期間とで上記水平転送部の転送動作の1周期の期間異なることを特徴とする請求項1記載の固体撮像装置。

【請求項3】上記固体撮像素子の出力レベルが所定のレベル以下となったときに、上記水平転送部の転送動作の整数倍の周期で上記出力部の排出動作を設定することを特徴とする請求項1記載の固体撮像装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、CCDイメージセンサを備えた固体撮像装置に関し、特に受光感度の向上に関する。

【0002】

【従来の技術】CCDイメージセンサを用いるテレビカメラ等の撮像装置においては、所定の方式に従うテレビジョン同期信号に基づいてイメージセンサの各走査タイミングが設定され、テレビジョン同期信号の方式に対応した映像信号が作成される。例えば、NTSC方式の場合、垂直走査時間が1/60秒に設定され、さらに水平走査時間が垂直走査時間の2/525に設定されて映像情報が1水平走査時間単位で連続する映像信号が出力される。

【0003】図7は、CCDイメージセンサを用いる撮像装置の基本的な構成を示すブロック図である。フレーム転送型のCCDイメージセンサ1は、被写体からの映像を受けて情報電荷を発生する撮像部2、情報電荷を一旦蓄積する蓄積部3及び情報電荷を水平方向に転送して出力する水平転送部4からなり、撮像部2で発生した情報電荷が各垂直走査期間に蓄積部3に転送され、この蓄積部3から水平走査期間毎に水平転送部4を介して出力される。水平転送部4の出力側には、情報電荷量を電圧値に変換する出力部5が設けられ、水平転送部4から出

力される情報電荷が1ビット単位で蓄積される。この、イメージセンサ1には、垂直転送クロック発生回路6及び水平転送クロック発生回路7が接続され、イメージセンサ1の蓄積部3及び水平転送部4にそれぞれ4相の垂直転送クロック ϕ_1 、及び2相の水平転送クロック ϕ_2 が供給される。これら転送クロック発生回路6、7には、垂直走査期間及び水平走査期間を設定するタイミング制御回路8が接続され、イメージセンサ1の走査タイミングが所定のテレビジョン方式に対応付けられる。また、イメージセンサ1の出力部5には、水平転送クロック発生回路7に同期して動作するリセットパルス発生回路9が接続され、水平転送クロック ϕ_2 に同期したリセットパルスRSTが印加される。この出力部5には、フローティングディフュージョンと称される他の領域から電気的に独立する拡散領域が設けられ、この拡散領域に蓄積される情報電荷がリセットパルスRSTに従って電荷排出用のドレインに排出されるように構成される。即ち、出力部5は、水平転送部4から出力部5に転送された情報電荷を出力部5内の拡散領域に蓄積し、拡散領域の電位の変動から電圧値を得ているため、水平転送部4の情報電荷が出力部5に転送される度にその情報電荷を排出するようリセットパルスRSTが設定される。従って、出力部5からリセットパルスRSTに応じたタイミングで電位の変動する出力が得られ、この出力がサンプルホールド回路10に取り込まれる。サンプルホールド回路10にサンプリングパルスSPLを供給するサンプリングパルス発生回路11は、リセットパルス発生回路9と同様に、水平転送クロック発生回路7に同期し、リセットパルスRSTのリセットタイミングより僅かに早いタイミングにサンプリングタイミングを設定する。これにより、出力部5の出力電圧のうち水平転送部4から出力される情報電荷量に対応した電圧値のみが取り出され、映像信号として次段の回路に出力される。

【0004】以上のような撮像装置においては、一画面分の情報電荷を撮像部2に蓄積する期間が、例えば1/60秒として設定されるが、撮像部2の情報電荷を特定のタイミングで排出することにより蓄積期間を1/60秒以下に設定することも可能である。従って、明るい被写体に対しては、情報電荷の蓄積期間を短く設定してイメージセンサ1の撮像部2の飽和を防止している。逆に、暗い被写体に対しては、情報電荷の蓄積期間を複数の垂直走査期間に亘って設定することで、蓄積期間を1/60秒以上とし、露光不足分を補うように構成される。この場合、撮像部2から蓄積部3への情報電荷の転送が1垂直走査期間おきに行われるため、イメージセンサ1の出力は、1垂直走査期間おきに得られることになる。従って、イメージセンサ1の出力に対しては、垂直走査期間単位で信号の補間を行う処理が施される。このような露光制御機能を備えた撮像装置は、例えば本出願人により特願昭63-66330号に提案されている。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、イメージセンサ1の出力に対して補間を行う場合には、一画面分の信号を記憶するフィールドメモリが必要となり、回路規模が大きくなるという問題を有している。そこで、撮像部2の2画素分の情報電荷を合成することにより、情報電荷量を増大させてイメージセンサ1の見かけ上の感度を向上することが考えられている。2画素分の情報電荷を合成する際には、情報電荷の転送過程で合成する方法や、出力部5での電圧値への変換時に合成する方法が用いられる。情報電荷を転送過程で合成する場合、例えば水平転送部4を1水平走査期間おきに動作させることにより垂直方向の2画素が合成されることになる。この場合には、イメージセンサ1の出力が1水平走査期間おきに得られるため、水平走査期間単位でイメージセンサ1の出力を補間する必要が生じる。一方、出力部5で情報電荷を合成する場合、出力部5の電荷の排出動作を水平転送部4の転送動作の2倍の周期に設定することにより2画素分の情報電荷を出力部5に蓄積して電圧値に変換するように構成される。

【0006】以上のように複数の画素の情報電荷を合成して映像信号を得る場合には、イメージセンサ1からの出力レベルの上昇により見かけ上の感度が向上されるが、複数の画素の混合による情報量の減少のため、解像度が低下する。特に、水平方向の解像度については、従来のインタレース駆動によって解像度の低下を補うことが困難なため、再生画面の画質向上の障害となる。

【0007】そこで本発明は、解像度の低下を防止しながら感度の向上を図ることが可能な固体撮像装置の提供を目的とする。

【0008】

【課題を解決するための手段】本発明は、上述の課題を解決するために成されたもので、その特徴とするところは、互いに平行に配列される複数の垂直転送部の各出力が水平転送部の各ビットに結合されると共に、この水平転送部の出力を出力部に受け、この出力部に蓄積される電荷量に応じた電圧値を出力する固体撮像素子と、上記垂直転送部内の情報電荷を1水平ライン毎に上記水平転送部に転送し、さらに上記水平転送部から上記出力部に転送した後に、上記出力部に蓄積される情報電荷を上記水平転送部の転送動作に同期して排出する駆動手段と、上記出力部から出力される電圧値を上記駆動手段の排出動作に同期して取り出す検出手段と、を備え、上記駆動手段は、上記出力部の排出動作の周期を上記水平転送部の転送動作の周期の整数倍に設定し、且つ奇数番目の垂直走査期間と偶数番目の垂直走査期間とで上記出力部の排出動作のタイミングを上記水平転送部の転送動作の1周期の期間互いに異ならせることにある。

【0009】

【作用】本発明によれば、奇数フィールドと偶数フィー

ルドとで出力部の排出動作のタイミングを水平転送部の転送動作の1周期の期間だけ互いにずらして設定することにより、出力部で合成される情報電荷の画素の組み合わせがフィールド毎に反転するため、素子から得られる映像信号が奇数フィールドと偶数フィールドとで水平方向に1/2画素（実質的には1画素）分ずれ、水平方向にインタレース走査される。

【0010】

【実施例】図1は、本発明固体撮像装置の一実施例を示すブロック図であり、図2は、その動作タイミング図である。この図において、イメージセンサ1及びその駆動回路（垂直転送クロック発生回路6及び水平転送クロック発生回路7）は、図7と同一であり、タイミング制御回路8により設定される走査タイミングに応じて垂直転送クロックφ_v及び水平転送クロックφ_hをイメージセンサ1に供給して駆動するように構成される。

【0011】本発明の特徴とするところは、水平転送クロックφ_hの2倍の周期を有するリセットパルスRST₁をイメージセンサ1の出力部5に印加することにより、水平転送部4から出力される情報電荷を2画素毎に出力部5に蓄積して電圧値に変換することにある。水平転送クロックφ_hと同一周期を有するリセットパルスRST₁は、リセットパルス発生回路9から出力され、分周回路12により1/2分周された後に、水平転送クロックφ_hの2倍の周期を有するリセットパルスRST₂として出力部5に供給される。このため、出力部5の排出動作が、水平転送部4の転送動作の2倍の周期となり、出力部5には水平方向の2画素分の情報電荷が蓄積される。さらに、分周回路12でのリセットパルスRST₂の分周動作は、フィールド（垂直走査）毎に反転するフィールド識別信号FLDに応答して、各フィールドで水平転送クロックφ_hの1周期分ずれたタイミングに設定される。例えば、奇数フィールド（ODD）では、水平走査信号HDの立ち上がりで分周回路12をリセットし、偶数フィールド（EVEN）では、水平走査信号HDの立ち上がりから水平転送クロックφ_hの1周期分遅れて分周回路12をリセットするように構成される。このため、出力部5に供給されるリセットパルスRST₂は、図2に示すように、奇数フィールドと偶数フィールドとで互いにリセットパルスRST₂の1周期の期間ずれて設定される。このようなリセットパルスRST₂によれば、出力部5の情報電荷の排出動作が水平転送部4の転送動作に対して各フィールドで水平転送クロックφ_hの1周期だけずれるため、出力部5において合成される画素の組み合わせがフィールド毎に反転することになる。即ち、奇数フィールドでは、奇数列のビットの情報電荷に次のビットの情報電荷が混合された後に電圧値が取り出され、偶数フィールドでは、偶数列のビットの情報電荷が次のビットの情報電荷と混合されたのちに2画素分の情報電荷に対応する電圧値が出力部5から出力され

30

40

50

る。この出力部5からの出力は、サンプルホールド回路10に取り込まれることになるが、このサンプリング動作のタイミングについては、出力部5の排出動作に対応するように設定される。そのため、サンプリングバルス発生回路11から出力されるサンプリングバルスSLP₁は、分周回路13により1/2に分周され、水平転送クロック ϕ_1 の2倍の周期を有するサンプリングクロックSLP₂としてサンプルホールド回路10に供給される。また、サンプリングのタイミングについては、図7の場合と同様に、出力部5の情報電荷の排出タイミングより僅かに早くする必要があるため、サンプリングクロックSLP₁は、リセットバルスRST₁に対して僅かに進んだ位相に設定される。

【0012】そして、インタース走査との組み合わせにより、図3に示すように、奇数フィールドでは、奇数ラインの画素Oが破線で囲む2画素毎に同一のデータで表され、偶数フィールドでは、奇数フィールドに対して水平方向に1画素ずれた状態で、偶数ラインの画素Eが破線で囲む2画素毎に同一のデータで表される。従って、垂直方向にインタース走査されると同時に水平方向にも疑似的にインタース走査されるため、2画素の情報電荷を水平方向に合成しているにも拘わらず水平方向の解像度の低下が抑圧される。

【0013】ところで、出力部5において合成される画素の組み合わせを反転する周期は、垂直走査期間単位で行うほかに、水平走査期間単位で行うことも可能である。この場合、分周回路12におけるリセットバルスRST₁の分周動作が、水平走査期間毎に水平転送クロック ϕ_1 の1周期だけずれて設定される。即ち、奇数番目の水平走査期間には、水平走査信号HDの立ち上がりで分周回路12をリセットし、偶数番目の水平走査期間には、水平走査信号HDの立ち上がりから水平転送クロック ϕ_1 の1周期分遅れて分周回路12をリセットすることにより、リセットバルスRST₁のリセットタイミングが、図3に示すように、水平走査期間毎で互いにリセットバルスRST₁の1周期分ずれて設定される。このとき、サンプリングバルスSLP₁についても、リセットバルスRST₁と同様に水平走査期間毎にサンプリングタイミングが水平転送クロック ϕ_1 の1周期分ずれるように分周回路13の分周動作が設定される。

図2は、本発明の他の実施例を示すブロック図である。

【0014】この図において、イメージセンサ1、垂直転送クロック発生回路6、水平転送クロック発生回路7及びタイミング制御回路8については、図1と同一であり、同一部分には同一符号が付してある。ここでは、イメージセンサ1の出力部5での情報電荷の合成をイメージセンサ1の露光状態に対応して行うようにした点を特徴としている。

【0015】即ち、サンプルホールド回路10の出力レベルからイメージセンサ1の露光状態を判定する露光判

定回路14を設け、この露光判定回路14の判定結果に応じて、リセットバルスRST₁及びサンプリングバルスSLP₁を分周する分周回路15、16の分周率を変動するように構成される。この露光判定回路14は、例えば、サンプルホールド回路10の出力を1画面単位で積分し、その積分値が所定の基準値より低くなったときにイメージセンサ1が露光不足であるとして分周回路15、16の分周率を1から1/2に変更させる。これにより、被写体の輝度が低下してイメージセンサ1が露光不足となると、分周回路15、16の分周率が1/2に設定され、出力部5で2画素分の情報電荷が合成されることになる。出力部5での情報電荷の排出動作が水平転送部4の転送動作の1/2の周期に設定された場合の各部の動作については、図1の場合と同一であり、説明を省略する。

【0016】従って、被写体の輝度の低下に対応してイメージセンサ1の感度が自動的に高くなるため、撮像装置の操作性が向上すると共に、撮像装置のダイナミックレンジが拡大される。

【0017】

【発明の効果】本発明によれば、撮像装置の感度を高くすると同時に、感度向上に伴う解像度の低下を抑圧することで、高感度で且つ解像度の高い撮像装置を実現することができる。また、撮像素子自体は、従来のものと同一構造のものが採用できるため、駆動回路の走査タイミングの変更により容易に感度の向上が可能なため、コストの上昇を防止することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明固体撮像装置の一実施例を示すブロック図である。

【図2】図1の第1の動作を示すタイミング図である。

【図3】画素の合成状態を示す模式図である。

【図4】図1の第2の動作を示すタイミング図である。

【図5】画素の合成状態を示す模式図である。

【図6】本発明の他の実施例を示す回路図である。

【図7】従来の固体撮像装置を示すブロック図である。

【符号の説明】

1 イメージセンサ

2 撮像部

3 蓄積部

4 水平転送部

5 出力部

6 垂直転送クロック発生回路

7 水平転送クロック発生回路

8 タイミング制御回路

9 リセットバルス発生回路

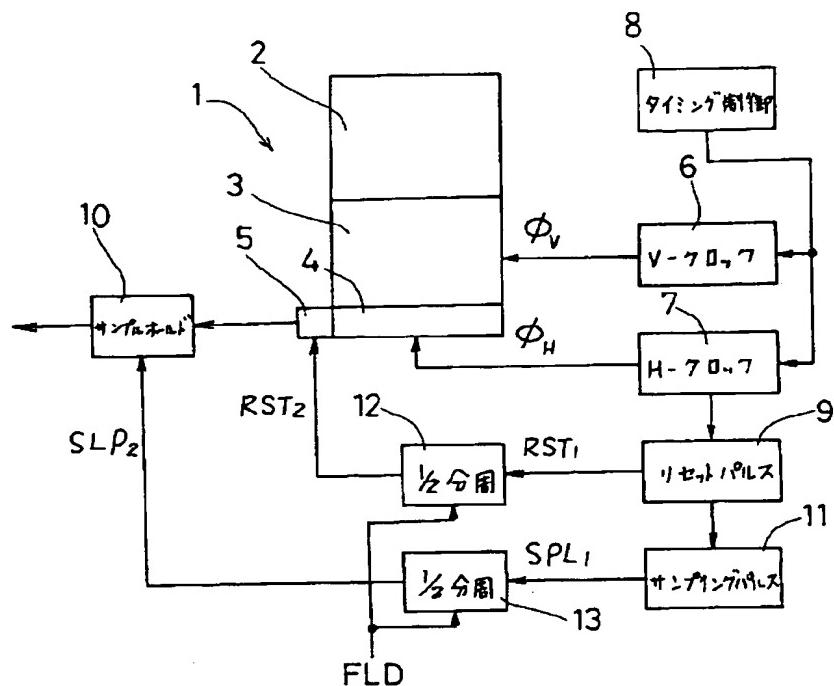
10 サンプリングバルス発生回路

11 サンプルホールド回路

12、13、15、16 分周回路

14 露光判定回路

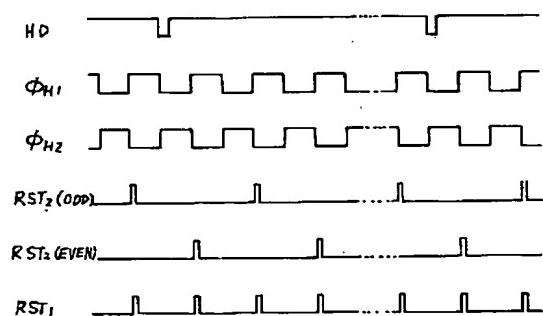
【図1】



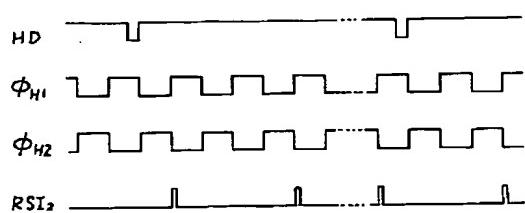
【図3】

0	0	0	0	0	0
E	E	E	E	E	E
0	0	0	0	0	0
E	E	E	E	E	E

【図2】



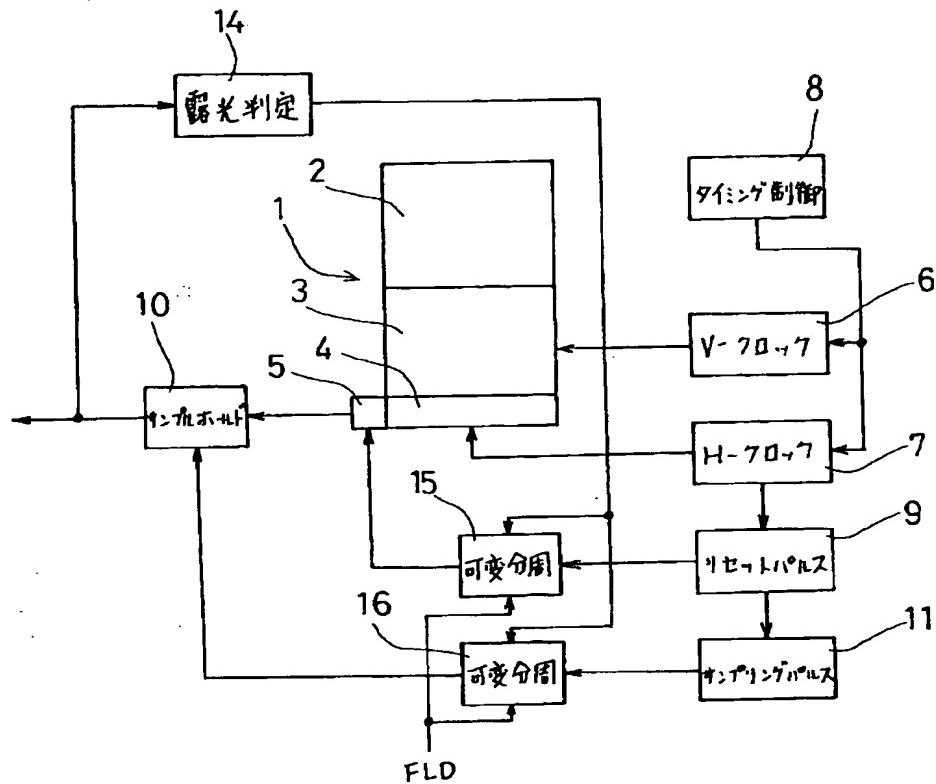
【図4】



【図5】

0	0	0	0	0	0
E	B	E	B	E	B
0	0	0	0	0	0
E	E	B	E	B	E

【図6】



【図7】

